



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ファブリカホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4193 URL <https://www.fabrica-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 谷口 政人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 岩館 徹 TEL 03-5544-9102
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,154	11.3	268	2.8	270	1.8	170	3.8
2024年3月期第1四半期	1,935	17.4	260	0.7	265	0.6	164	△0.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 147百万円 (△21.7%) 2024年3月期第1四半期 187百万円 (12.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	31.64	31.55
2024年3月期第1四半期	30.91	30.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,012	3,460	68.6
2024年3月期	5,303	3,597	67.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,439百万円 2024年3月期 3,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	37.00	37.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	6.6	1,100	2.7	1,100	1.2	700	3.9	129.22

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：有
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）及び（会計上の見積りの変更と区別する事が困難な会計方針の変更）をご覧ください。」

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,458,200株	2024年3月期	5,458,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	93,578株	2024年3月期	41,278株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,400,592株	2024年3月期1Q	5,327,722株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、個人消費の回復やインバウンド需要の増加を背景に経済の回復基調が強まりました。一方、原材料やエネルギー価格の上昇、円安に伴う物価上昇による実質賃金の減少が続き、ウクライナや中東など不安定な世界情勢の影響から、依然として不確実性が高い状況が続いております。

当社グループが属する情報・通信業種におきましては、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に伴い、サービスの需要が引き続き高まりました。今後も中長期的な需要は堅調に推移するものと見込まれます。

このような環境下、当社グループは「デジタルの力で新たな価値を創造し、あらゆる組織と人々に貢献する」というミッションを掲げ、SMS配信サービスと自動車販売業務支援システムの2つの主力事業を通じて、顧客の業務プロセス改革とデジタル活用をサポートする取り組みを推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,154,691千円（前年同期比11.3%増）、営業利益は268,214千円（同2.8%増）、経常利益は270,157千円（同1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は170,890千円（同3.8%増）となりました。なお、セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

なお、報告セグメントの各グループ会社に営業費用として計上していたグループ会社の経営指導料を、会社分割による持株会社体制への移行に伴い、調整額として全社費用に含める方法に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(SMSソリューショングループ)

国内の携帯電話事業者全キャリアと直接接続契約を行い、法人向けにSMS配信サービス「メディアSMS」の提供を行っております。

国内のSMS市場におきましては、引き続き市場成長が継続しているものと認識しており、メディアSMSの配信数および新規導入社数は好調に推移いたしました。また、既存顧客に対するクロスセルや付加価値の高いソリューション営業の強化等の取り組みを行った結果、当第1四半期連結累計期間のSMSソリューショングループの売上高は1,318,358千円（同15.7%増）となり、セグメント利益は360,073千円（同9.5%増）となりました。

(U-CARソリューショングループ)

自動車販売業務支援システム「symphony」を提供し、自動車アフターサービスに関わる事業者のビジネスを支援しております。

メイン顧客層である中小規模事業者に向けたサポート及びコンサルティング活動を引き続き積極的に行い、symphony導入社数が前年同期比で290社と堅調に増加いたしました。一方で、メディア力強化を目的とした広告投資と新卒採用をはじめとした人材投資を積極的に行った結果、当第1四半期連結累計期間のU-CARソリューショングループの売上高は349,874千円（同4.4%増）となり、セグメント利益は79,449千円（同8.8%減）となりました。

(インターネットサービスグループ)

他セグメントへのWEB集客支援を担っているほか、自動車分野に特化したWEBマガジンの運営や、中古車一括査定サービス、EC事業者向けCRMプラットフォーム「アクションリンク」の提供など、多角的なポートフォリオを構築して事業運営を行っております。

アクションリンクへの成長投資を引き続き継続しながらも、メディア領域における運営コスト削減施策が奏功した結果、当第1四半期連結累計期間のインターネットサービスグループの売上高は84,854千円（同24.6%増）となり、セグメント利益は24,094千円（前年同期は12,738千円の損失）となりました。

(オートサービスグループ)

自動車事故で損害を受けた自動車の修理から、レッカー、代車貸出までワンストップでカバーするサービスの提供と、自動車整備・中古車販売事業を行っております。

売上高は堅調に推移したものの、原価及びび販管費の増加が影響した結果、当第1四半期連結累計期間のオートサービスグループの売上高は400,688千円（前年同期比2.1%増）となり、セグメント利益は14,796千円（同23.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産合計は、5,012,568千円となり、前連結会計年度末に比べ291,182千円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が184,855千円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が65,942千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,552,355千円となり、前連結会計年度末に比べ153,995千円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が123,564千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,460,212千円となり、前連結会計年度末に比べ137,187千円減少いたしました。

これは主に、自己株式が92,034千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,102,329	1,917,473
受取手形、売掛金及び契約資産	858,966	793,024
商品及び製品	86,539	97,605
仕掛品	225	1,042
原材料及び貯蔵品	2,631	1,739
その他	396,386	317,401
貸倒引当金	△3,903	△4,032
流動資産合計	3,443,176	3,124,252
固定資産		
有形固定資産	497,933	490,055
無形固定資産		
のれん	25,039	23,496
その他	293,453	331,386
無形固定資産合計	318,492	354,882
投資その他の資産		
投資有価証券	814,773	830,189
その他	230,403	214,288
貸倒引当金	△1,215	△1,212
投資その他の資産合計	1,043,962	1,043,265
固定資産合計	1,860,388	1,888,203
繰延資産	186	111
資産合計	5,303,751	5,012,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,493	498,451
1年内償還予定の社債	30,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	112,996	93,146
未払法人税等	209,132	85,567
ポイント引当金	87,174	90,278
賞与引当金	27,597	11,400
その他	422,109	464,358
流動負債合計	1,397,502	1,263,202
固定負債		
長期借入金	139,596	125,564
資産除去債務	55,182	55,323
その他	114,068	108,264
固定負債合計	308,847	289,152
負債合計	1,706,350	1,552,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,785	655,785
資本剰余金	594,805	594,805
利益剰余金	2,425,493	2,401,374
自己株式	△73,834	△165,869
株主資本合計	3,602,250	3,486,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,636	△46,358
その他の包括利益累計額	△22,636	△46,358
新株予約権	17,786	20,474
純資産合計	3,597,400	3,460,212
負債純資産合計	5,303,751	5,012,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,935,289	2,154,691
売上原価	957,159	1,130,667
売上総利益	978,129	1,024,024
販売費及び一般管理費	717,277	755,809
営業利益	260,852	268,214
営業外収益		
受取利息	0	48
受取配当金	5	6
受取家賃	1,805	1,805
固定資産売却益	1,663	—
受取保険金	1,968	1,104
その他	633	1,204
営業外収益合計	6,076	4,169
営業外費用		
支払利息	256	327
支払手数料	—	721
貸貸収入原価	562	562
その他	748	614
営業外費用合計	1,567	2,226
経常利益	265,361	270,157
特別利益		
関係会社株式売却益	785	—
特別利益合計	785	—
特別損失		
減損損失	149	—
特別損失合計	149	—
税金等調整前四半期純利益	265,998	270,157
法人税、住民税及び事業税	86,296	82,918
法人税等調整額	15,037	16,348
法人税等合計	101,333	99,266
四半期純利益	164,664	170,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,664	170,890

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	164,664	170,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,254	△23,722
その他の包括利益合計	23,254	△23,722
四半期包括利益	187,918	147,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,918	147,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、車両運搬具の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更は、車両の使用状況を調査した結果、一定期間にわたって安定的に稼働していることから、定額法により均等に費用配分することが使用実態をより適切に反映するものと判断し、減価償却方法を変更したものです。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SMS ソリューション グループ	U-CAR ソリューション グループ	インター ネット サービス グループ	オート サービス グループ	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,139,823	334,969	68,117	311,226	1,854,136	—	1,854,136
その他の収益	—	—	—	81,152	81,152	—	81,152
外部顧客への売上高	1,139,823	334,969	68,117	392,379	1,935,289	—	1,935,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,621	—	3,540	—	12,161	△12,161	—
計	1,148,444	334,969	71,657	392,379	1,947,450	△12,161	1,935,289
セグメント利益又は損失(△)	328,919	87,108	△12,738	19,217	422,507	△161,655	260,852

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,655千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及びセグメント間取引消去となります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					その他	合計
	SMS ソリューション グループ	U-CAR ソリューション グループ	インター ネット サービス グループ	オート サービス グループ	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,318,358	349,874	84,854	311,231	2,064,318	916	2,065,234
その他の収益	—	—	—	89,457	89,457	—	89,457
外部顧客への売上高	1,318,358	349,874	84,854	400,688	2,153,775	916	2,154,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,457	—	3,000	—	7,457	—	7,457
計	1,322,815	349,874	87,854	400,688	2,161,232	916	2,162,149
セグメント利益又は損失（△）	360,073	79,449	24,094	14,796	478,414	△14,761	463,652

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	2,065,234
その他の収益	—	89,457
外部顧客への売上高	—	2,154,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△7,457	—
計	△7,457	2,154,691
セグメント利益又は損失（△）	△195,437	268,214

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△195,437千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及びセグメント間取引消去となります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

従来、提出会社のグループ会社に対する経営指導料を、報告セグメントの各グループ会社の営業費用として計上しておりましたが、会社分割により持株会社体制へと移行したため、当第1四半期連結会計期間より調整額として全社費用に含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の計算方法によって作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	19,769千円	29,675千円
のれんの償却額	1,172	1,542